

## エコチル調査

### 調査の対象とする環境要因 (例示)

#### 化学物質の暴露

残留性有機汚染物質 (ダイオキシン類、PCB、有機フッ素化合物、難燃剤等)、  
重金属 (水銀、鉛、ヒ素、カドミウム等)、内分泌攪乱物質 (ビスフェノールA等)、  
農薬、VOC (ベンゼン等) など

#### その他の要因 (交絡因子)

遺伝要因  
社会・生活習慣要因  
地域 (住所)、住居 (種類、築年数、空調等)、  
両親の学歴・職業歴・勤務状況・収入、両親の喫煙・飲酒、食事、  
家庭環境 (兄弟の数、ペット等)、遊び場の環境、学校の環境 等

### 健康影響の指標調査項目 (例示)

- 身体発育・・・ 出生時体重低下、出生後の身体発育状況 等
- 先天異常・・・ 尿道下裂、停留精巣、口唇・口蓋裂、二分脊椎症、消化管閉鎖症、  
心室中隔欠損、ダウン症 等
- 性分化の異常・・・ 性比、性器形成障害、脳の性分化 等
- 精神神経発達障害・・・ 自閉症、LD (学習障害)、ADHD (注意欠陥・多動性障害) 等
- 免疫系の異常・・・ アレルギー、アトピー、喘息 等
- 代謝・内分泌系の異常・・・ 耐糖能異常、肥満 等

## 環境省からのお願い・・・

### いちばん 大事なものは みなさんの応援です

エコチル調査は、3年間で10万組の参加者を募り、さらに13年間の追跡調査を実施するという、わが国ではかつてない大規模で長期的な調査です。十数年間の調査を維持するためには、社会全体の理解と応援が必要です。

### サポーターの登録をお願いいたします

参加者以外の方でも、この調査の趣旨にご賛同いただける方は、下記のエコチル調査HPからサポーター (応援) にぜひご登録ください。  
くわしい情報をお届けいたします。

環境省エコチル調査ホームページ

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/index.html>



モバイルサイトはこちら



資料編集・発行：「健やかな命のための生活講座」・環境劇団「ECO'S」  
<問い合わせ> 〒420-0882 静岡市葵区安東 1-2-3  
プラムフィールド内 Tel&fax 054-209-2021  
Mail:plumfield9905@yahoo.co.jp

資料出典：環境省エコチル調査HPより引用

第1.2版 2011年2月26日

2011年1月スタート！

# 子どもの健康と環境に関する全国調査

子どもの健康に影響を与える環境リスクを明らかにするために

## エコチル調査

大規模な、そして長期にわたる調査だから  
新たな研究の成果が期待できます



### 子どもたちを 対象にするわけは・・・

赤ちゃんがお腹のなかにいる時から小児期までは健康な体をつくるのにとっても大切な時期。この時期は、大人より化学物質の影響を受けやすいと考えられるため、子どもたちを対象に調査します。

### 10万組の子どもたちとそのご両親を 対象とする全国プロジェクト

全国10万組の子どもたちとそのご両親にご協力いただき、日本で初めての大規模調査です。10万組の親子のデータを分析することで、微量な物質の影響も調べることができます。

### 胎児期から13歳になるまで追跡

胎児期から小児期の影響がのこる13歳になるまでの長期間にわたって追跡調査。環境中の物質や生活習慣、健康状態について、血液・尿などによる分析や質問票による調査をおこないます。その結果は、さらにその後5年間にわたって解析していきます。

### 血液などを将来のさらなる研究に活用

調査の過程でご提供いただく子どもたちとご両親の血液などは、アレルギーや化学物質の分析だけでなく、専用の施設に長期間保存して将来行われる研究にも活用。また世界と連携した長期的な研究に役立てます。



## エコチル調査のお問い合わせは

環境省環境保健部 環境安全課環境リスク評価室

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎5号館



03-5521-8262



FAX 03-3581-3578